

平成 27 年度 事業計画

I. 基本方針

わが国経済は、アベノミクス効果により、景気回復、デフレ経済からの脱却に向けた動きを続けている。しかしながら、昨年4月の消費税率引き上げ後の個人消費の回復の停滞、急激な円安による原材料価格の上昇もあり、景気回復の動きが大企業や大都市等の一部に留まっている状況にある。このため、本格的な景気回復と持続的な成長の実現に向けて、引き続き全力で取り組むとともに、その成果を各産業、各地域等、わが国全体に拡げていく必要がある。加えて、わが国は、少子高齢・人口減少社会への対応、地方の創生、財政の早期健全化、防災・減災対策の強化、社会資本の老朽化への対応等、多くの課題を抱えており、これらに対しても適切な対応を図っていかねばならない。

こうした状況の下、わが国の「ものづくり」の中心地であり、1,700万人が住む中部圏は、経済のグローバル化が進む中、国際競争力を高めるとともに、各地域が自ら地方創生に総力を上げて取り組む必要がある。そのためには、企業の積極的な事業展開やイノベーション等を推し進めるとともに、地域に根ざした産業を活性化させていかなければならない。また、平成39年に開業するリニア中央新幹線を最大限に活かし、メガリージョンを見据えた地域づくりを進めるとともに、各地でまちのコンパクト化とネットワーク化を進めていかなければならない。加えて、こうした産業や地域を支える人材の育成も重要である。

中経連は、昨年5月、中部圏が「世界最強ものづくり地域」、「日本一住みたい訪れたい地域」、「日本一働きやすく人材豊かな地域」になることを目標とする「中期活動指針 ACTION 2020」を策定した。平成27年度は、上記の情勢を踏まえるとともに、この指針に基づき、以下を重要テーマとして事業活動を展開する。

- 事業全般：グローバルな視点とローカルな視点を踏まえた経済の活性化と地方創生
- ものづくり：次世代を担う産業の振興、中堅・中小企業の活性化
- まちづくり：東京一極集中の是正、リニアを活かすまちづくりの推進
- ひとづくり：多様な人材の活躍促進、産業・地域を支える人材の育成

事業活動の推進にあたっては、会員、自治体等とのコミュニケーションの充実と連携強化を図り、各地域の課題や要望を幅広く把握するとともに、地域間の連携、産学官の連携を推進していく。加えて、課題解決に向けて精力的に調査・研究を行い、国等に提言・要請を実施するとともに、関係機関と連携して積極的に活動を展開し、中部圏の明るい未来の実現に向けて全力で行動する。

以 上

Ⅱ. 主要事業活動

項 目		目 標	活 動 内 容
1. 社会・経済制度の整備 等			
○調査・研究、提言、要請 等	○中部圏やわが国の活性化に資する社会・経済制度の整備 等		○経済政策、社会制度、経済法規等に関する調査・研究、提言、要請の実施 ・「貿易・サービス収支改善の提言」（平成 27 年 2 月策定）の要請 ・経済政策、法改正、規制緩和等に対する提言、要請 （経済委員会） ○産業育成・振興に資する税制改正や補助制度等に関する調査・研究、提言、要請の実施 ・「平成 28 年度税制改正要望」の策定、要請 ・「国土強靱化を促進する税制の創設」の要請 （税制委員会） ○「国土形成計画に基づく中部圏広域地方計画」策定への協力 <新規> ・各地域の課題、要望を踏まえた意見反映等 ○2040 年の将来像の実現に向けたロードマップの策定
	○「中期活動指針 ACTION 2020」のロードマップの策定		
2. 「ものづくり」の推進			
①次世代を担う産業の振興	○次世代自動車産業 ・効率的なモビリティ社会づくりの推進		○「地域別の移動特性に応じた効率的なモビリティ社会のあり方について」（平成 26 年 10 月策定）の実現に向けた活動の実施 ・実証実験の実現に向けた調査・企画、自治体等との調整 （産業委員会）
	・次世代自動車の普及促進		○「次世代自動車地域産学官フォーラム」（事務局：中部経済産業局）等への協力
	○航空宇宙産業 ・航空機製造における日本製部品のシェア拡大 ・MR J、B787 等の生産体制の整備		○「中部圏の航空機産業の将来ビジョン（仮称）」の策定と実現に向けた活動の実施 （航空宇宙特別委員会） ○「アジア No.1 航空宇宙産業クラスター形成特区制度」の延長・充実にに向けた活動の実施 ○航空宇宙産業の専門人材を育成する公的教育機関等の整備に向けた活動の実施
	○ヘルスケア産業 ・ヘルスケア産業の振興		○ヘルスケア産業に関する調査・研究の実施 ・I C T の利活用による高齢者健康管理、介護分野等へのロボット導入等 （産業委員会） ○「新ヘルスケア産業フォーラム」（事務局：名古屋大学、中経連等）への協力
	○環境・リサイクル産業 ・環境・リサイクル産業の振興		○太陽光パネル、炭素繊維、燃料電池等、新素材・新製品のリサイクルに関する調査・研究の実施 <新規> （資源・環境委員会） ○「水のいのちとものづくり中部フォーラム」（事務局：水資源機構、中経連）への協力

項 目	目 標	活 動 内 容
3.「まちづくり」の推進		
①東京一極集中の是正および地方分権、地方創生の推進	○東京一極集中の是正と地域の自立、発展に向けた地方分権の推進 ○地方創生の推進による中部圏の活性化	○東京一極集中の是正に向けた地方分権改革の推進と中部圏の役割に関する意見書の策定、要請の実施 (地方分権特別委員会) ○各地域の地方創生に関する活動の把握、要望活動等への協力 <新規>
②リニア中央新幹線を活かす魅力あるまちづくり	○リニアを活かすまちづくりの推進	○名古屋駅およびリニア中間駅（飯田、中津川）を活かしたまちづくりに関する情報収集と支援
③まちのコンパクト化の推進	○少子高齢・人口減少社会を見据えたまちづくりの推進	○各地域のまちのコンパクト化の推進に向けた調査・研究の実施 ・国内外のコンパクトシティの調査 ・コンパクトなまちづくりに関する講演会の開催 (社会基盤委員会)
④社会基盤の整備・維持と大規模災害への備え	○利便性・多重性の向上、メガリージョンを見据えた社会基盤の整備・維持	○「中部圏交通ネットワークビジョン（仮称）」の策定 ・各インフラ間、南北軸、地域間等の連携強化等を目指す、道路、鉄道、空港、港湾等の総合的な交通ネットワークビジョンの策定 (社会基盤委員会) ○道路ネットワークの整備（P. 5表参照）等に向けた活動の実施 (”) ○セントレアの二本目滑走路の実現に向けた活動の実施 (中部国際空港特別委員会) ○「中部国際空港利用促進協議会」（事務局：名古屋商工会議所、中経連）への協力
	○地域や企業における防災・減災対策の推進	○企業の防災・減災対策の推進に資する活動の実施 ・災害時におけるサプライチェーンの維持等BCPに関する調査・研究 ・「企業防災連絡会」の開催 (防災特別委員会) ○「中部地域産業防災フォーラム」（事務局：中部経済産業局、中経連）への協力 ○「国土強靱化を促進する税制の創設」の要請 【再掲】 (税制委員会)
⑤地域連携の強化	○地域連携の強化 ○国際化の推進	○各地域の行政、商工会議所等との情報・意見交換、連携活動の強化 ・知事等との懇談会の開催 ・参与会議の開催 ・県担当活動の充実 ○産学官の連携強化に資する会議の開催 ・「中央日本交流・連携サミット」（8月予定、テーマ案：地方創生に向けた中部圏の取り組み） ・「中部産業振興協議会」（10月予定、テーマ案：「ものづくり」の発展に必要な人材の育成） ・「中部の未来を考える会」（2月～3月予定、テーマ案：中部圏の観光振興への取り組みと連携のあり方） ○外国公館等との交流の実施 (国際交流懇談会) ○各国大使、領事等の訪問の受入 ○中部圏の国際化推進に向けた調査・研究の実施 <新規> ・外国人にとっての地域の魅力向上、情報発信力強化 ○海外経済視察団の派遣（11月中旬予定）

項 目	目 標	活 動 内 容
4. 「ひとづくり」の推進		
①多様な人材の活躍促進と少子化への対応	○多様な人材の活躍促進	○女性、シニア、海外人材等の活躍促進等、ダイバーシティの推進に関する調査・研究の実施
②産業・地域を支える人材の育成	○産学連携による人材育成の推進 ○次代を担う産業界と学界の人材交流	○「企業・人材プール」の構築 ・会員企業から会員大学への講師派遣等を行う「企業・人材プール」の試行 (企画委員会) ○「Next30 産学フォーラム」(異分野・異業種交流)の強化・開催 ・フォーラム内容の充実、交流の場の拡大等、交流促進に資する活動強化 (産学連携懇談会)
5. 会員との連携強化		
	○会員との連携強化 ○会員の増強	○会員懇談会の開催(各県2回/年) ○会員大学・学校法人との懇談会の開催 ○参与会議の開催【再掲】 ○経済団体との交流促進 ・「日銀講演会」(5月)、「西日本経済協議会」(10月総会)、 「経済4団体新春賀詞交歓会」(1月)、「中部経済4団体主催新春経済講演会」(1月)、 「東海地方経済懇談会」(2月) ○情報発信の強化(景況アンケート、機関誌「中経連」、ホームページ、メールマガジンの充実等) ○会員増強活動の実施

道路ネットワーク整備予定表	(別紙参照)
H27 年度	: 新東名高速道路「浜松いなさ～豊田東」開通、新名神高速道路「四日市 JCT～四日市北 JCT」開通、東海環状自動車道「東員 IC～四日市北 JCT」開通
H28 年度	: 中部横断自動車道「六郷 IC～増穂 IC」開通
H29 年度	: 東海環状自動車道「養老 JCT～養老 IC」開通、三遠南信自動車道「龍江 IC～飯田東 IC」開通、中部横断自動車道「新清水 JCT～富沢 IC」開通
H30 年度	: 新名神高速道路「四日市北 JCT～亀山西 JCT」開通、東海環状自動車道「大安 IC～東員 IC」開通、三遠南信自動車道「佐久間 IC～東栄 IC」開通、東海北陸自動車道「白鳥 IC～飛驒清見 IC」4車線化完了
その他 (※)	: 東海環状自動車道、名古屋環状2号線、東海北陸自動車道(完全4車線化)、三遠南信自動車道、紀勢自動車道、中部縦貫自動車道、中部横断自動車道、伊豆縦貫自動車道、西知多道路、濃飛横断自動車道、名豊道路、霞4号幹線、鈴鹿亀山道路、中勢バイパス、北勢バイパス、岐阜南部横断ハイウェイ、一宮西港道路 等

(※) 整備完了や全線開通予定の時期が、「未定」もしくは「H31 年度以降」の道路等

道路ネットワーク等の整備

